

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・初年次教育に重点を置き、大学で学んでいくための基本的スキルを身につけさせ、高等学校教諭一種免許状の取得に向けての準備を行う ・教職の意義と教員に求められる社会的責任を理解させる ・情報科学入門や情報リテラシー I を履修して、情報科学の基礎的知識を修得 ・教育者としての幅広い教養の修得
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校教諭一種免許状の取得に向けてのスタートと位置付ける ・現代社会における学校教育の位置づけについて理解させる ・教職に関する科目においては、情報数学という必修科目を設け、情報科教諭の心得を学ばせ、学生に教諭になるための意欲と決意を再確認させる ・教諭としての適性を判断させる
2年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校教諭一種免許状の取得に向けて、本格的に科目を履修し始める ・教育者としての幅広い教養の修得 ・教職免許と関わる教科に関する科目の多くがここに配置され、情報倫理、プログラミング I (基礎)、コンピューターグラフィックスなど各区分における、専門的知識を身につける ・教職に関する科目においては、カリキュラム論・授業論・授業観察など、教職に関する基礎的知識を体系的に理解させる ・指導案の作成の基礎的事項について理解させる
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次春学期に引き続き、高等学校教諭一種免許状の取得に向けて、本格的に科目を履修し始める ・学校での活動を通して教員としての適性について考えさせる ・特に2年次春学期の履修を踏まえて、教科に関する科目について、より発展的な内容を学ばせる ・教職免許と関わる教科に関する科目の多くが、ここに配置され、各区分における、発展的知識を身につける ・教職に関する科目についても、教科に関する科目の専門的学習を踏まえて、情報と問題解決やプログラミング II (応用) など、指導する能力について学ぶ
3年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次の教育実習を見据えて、実践を重視し、高度な指導技術を身につける ・情報科教育法 I では学習指導要領と学習領域および教材を学ぶ ・指導案の作成ができるようにする ・教育学に関する幅広い教養の修得 ・ネットワーク概論や情報科学とテクノロジーのように情報機器の管理運営に関わるハード的な内容や、教材開発や教材研究など、教案作成を修得
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次の教育実習に向けて、実践力の総仕上げを行う ・情報科教育法 II では模擬授業と授業評価を行い、互いに評価しあい、互いに能力技術をチェックさせる ・教科に関する科目も、情報社会の職業倫理など社会における情報の位置づけなどに関するものと、ネットワーク演習など少人数で行い、技術力を身につける ・この段階で、4年次に教育実習を行う能力について、判定する
4年次	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を行い、実践により、教師としての資質を磨き、完成させる段階である ・教育実習に対する、事前事後の指導を行い、優れた教育実習生を送り出す ・実習期間中には、実習先への訪問指導を行う。採用試験に対する支援も積極的に行っていく
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文に集中し、研究という立場から、今まで取り組んできた情報科教育に関する問題について、最終的な解答を導き出す ・教員として社会に出るために身につけておくべき知識や能力、技術を実際に身につけているかどうか、総合的に評価判断し、厳正に卒業判定を行う